

令和4年度 第12回

日南市教育委員会

会議録

令和5年2月22日(水) 午後3時から
北郷町地域振興センター 大会議室

- 1 会議の名称 令和4年度教育委員会 第12回会議（定例）
- 2 会議日時 令和5年2月22日（水）
午後3時から午後4時00分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文 郷谷純一 黒木由香、別府信一、八木真紀子
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼教育係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 北郷町地域振興センター 大会議室
- 5 傍聴者 0名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和4年度第12回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告

【都甲教育長】
 - ・ 1月29日、宮崎県女子駅伝大会があり、閉会式に出席しました。久しぶりの開催でしたが、宮崎日大が圧倒的な強さですね、全区間区間賞で優勝しました。2位が小林西諸

選抜で3位が都城市、日南市は13チーム中8位でした。監督に言わせると大健闘だったようで、これ繰り上げスタートがあるらしいんですけど、日南市なんとか繰り上げスタートなしでいけたそうです。

・2月1日、校長会を開催しました。校長フィードバックのお礼をいいました。皆さんよく頑張ってたってことですね。それから1月はですね市内の先生方無事故無違反で終わられました。これについてもですね、各学校でまた先生達にしっかり話をしてくださいということを伝えました。また、1月に子どもの声を聴く会があったんですけど、それから感じたこととか話してですね、先生方の指導があったからだということ、そして今後更に充実させて欲しいということを伝えました。

・2月3日、SPS認証式がございました。これは、飫肥中学校がですね、セーフティープロモーションスクールという学校に認証されました。文科省が指定しているんですけど、生活、災害、交通の安全対策にですね2年間取り組みを行って、それが認められたものです。これから先何年かに1回こう査定がありまして、認証されてこれがスタートということになります。

・同日、読書感想文・画コンクール表彰式がございました。今年もニチワさんの協賛をいただいて読書感想文・感想画コンクールの表彰式を行いました。感想画がですね200点を超える応募があったんですけど、感想文がちよっと減少傾向にありますので、今後感想文の応募数をですね、学校に呼び掛けて伸ばしていただけたらと思っています。子ども達たくさん本を読んでますので、そういうことを感じました。

・2月5日、ケロポンズファミリーコンサート in にちなんがございました。これケロポンズという女性2人のグループなんですけど、生涯学習課主催でファミリーコンサートが開かれました。500名を超える親子の観覧があって、賑やかな歓声がホールに響いておりました。終わってからご挨拶に行ったんですけど、とても朗らかなお二人でして、お土産をちょっと渡したらものすごく喜んで帰られました。観覧者はなにか宮崎辺りから来られた方もいらっしゃるんじゃないかということでした。

・2月6日、東九州自動車道「清武南―北郷間」開通決定祝賀式がございました。3月25日に開通するということになったようです。この道路が通ることによってですね、宮崎市内から通ってこられている学校の先生方も、かなり時間とかの余裕がでるんじゃないかというふうに考えています。

・2月8日、知事とのふれあいフォーラムがございました。これは高校生のことなんですけど、県立2校の2年生の代表が河野知事と市役所の議場で意見交換を行いました。高校生たちが非常に鋭い質問をしてですね、故郷のこととか物価のこととかそういう話をして、思いが伝わってくる会議でありました。

・同日、地場企業等意見交換会がございました。日南・串間の30を超える企業の方が集まってですね、高校生が発表した後情報交換会が行われました。答えるのは学校の先生だったんですけど、高校生がどういう思いでいるのかっていうのと企業の思いを理解し合える有意義な会議でありました。例えば、高校生はどのような気持ちで企業を選んでい

るんですかって話になって、振徳の先生なんですけど、休みが年間で二桁になると生徒は考えますって言われましたね。やっぱ三桁欲しいとかですね、そんなこと言っています。

- ・ 2月9日、第5回初期研修がございました。年度最後の初任者の研修なんですけど、挨拶をさせていただいたんですけど、1年間で皆さん必ず成長していますよって、それを実感して次年度以降への成長につなげて欲しいということを話しました。

- ・ 2月13日、北郷中男子バレー部九州大会出場の市長表敬がございました。大分でやるんですけど、県大会で3位に入って行かれるんですけど部員が7名で、本当こういう少数で戦って3位ということで好成績を期待したいなと思います。

- ・ 2月14日、戸村サチ子さん紺綬褒章伝達を行いました。国から紺綬褒章という叙勲がありましたので、市長とともに届けました。本当色んな形でですね私財を投じていただいてありがたい限りです。

- ・ 同日、学校給食会理事会がございました。3年ぶりに対面で開催しまして、物価高騰による給食への影響や、今パンの提供は滞ってますけど、そのことを色々と説明しまして承認されました。

- ・ 2月15日、南那珂育英会の第3回理事会がございました。これは理事会の中で提案としてですね、大きなものとして入学式に一時金を今度から出さないかと。やっぱりいろいろ物入りですので、ちょっと借りる人が減っているものですからそういうのを入れてみたらどうかというので、そういう提案をしましたら承認されました。

- ・ 2月16日、教育研究論文表彰式・教育研究所閉所式がございました。今回研究所の閉所式と研究成果の発表も一緒にできました。論文でもですね、優秀な論文がそろってですね、先生方の何て言いますかやる気を感じられる表彰式でありました。

- ・ 2月18日、講師のための講習会がございました。実をいうと今は免許を持ってても教職の経験がないって方も結構いらっしゃるということで、そういうのをやってみたんですね。そしたらですね、中には実際講師の方でやってらっしゃる方もいらっしゃるんですけど、全体で10名程ですね集まっていたいて、うちの指導主事が授業のこととか生徒指導のこととか話をさせてもらいました。私が言ったのは、今教諭、教員不足だから皆さんに来て欲しいって、こっちばかりだけの考えではなくて、皆さんがせっかく取った教員免許を生かしたいっていう気持ちがあるんだったら、その気持ちに少しでも応援できればという形でいうふうにやったということで話もしました。これ一つのきっかけでありまして、また今後色々な面でですね、アドバイス相談があったら乗っていくかなと思ってます。

- ・ 2月20日、南郷小学校鉄道クラブ手作りカレンダー贈呈式がございました。わたき先生という非常に熱心な方がいらっしゃいまして、その先生がですね子ども達にカレンダーを書いてもらって、市長と私とJRに渡されました。はがきも合わせてですね、非常に力作ぞろいありがたいなと思いました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

2月16日に日南市教育研究所閉所式と、あと論文の表彰式に参加させていただきました。で、研究発表も本当に学校の板書に関しての貴重な発表を聞かせていただいたのと、あと印象に残ったのはやっぱり論文の表彰式の南郷中学校の水尾先生の取り組みでして、こちらの方でルールを生徒たちに作らせるということをされていて、その中でもそのスマートフォンの使い方というのを子ども達で作って、それを冊子にまで落とし込んでいるということで、それをまた中学校だけで終わるんじゃなくて、各担当の小学校の方にもフィードバックしていった地域全体でそのルールを作り上げてるってのはすごい取り組みだなと思いました。ぜひ今回こういう研究を取り組んでまた1年後、その結果がどうだったかというのを知りたいなと思ったのと、あと、その冊子ぜひ現物を見てみたいなというのと、その取り組みっていうのを南郷以外の中学校とかでもまたアウトプットできるようなそういった環境ができればと感じたところです。本当に参考になった、勉強になりました。

【八木委員】

私閉所式の方はちょっと欠席させていただいてわからないんですけど、教育委員会の仕事ではないんですけど、こないだ別府委員に審査員をしていただいたわけものの主張で選ばれた日南学園の2年生の平野佑真君、県の大会でも最優秀で選ばれました。東京からサッカーをするため日南に来て、本当に今の若者たちが何を考えてるかとか、現実問題に絡めてその対策というか、そういうのが高校でやってるけど遅いと。小学校からやるべきだという話と、そういうのも自分の好きな情報しか入らない。あと、子どもたちには本当テレビも見ないので、そういう社会的なことを伝えるためのツールとかそういうことをもうちょっと考えて、ちゃんと解決策まで考えての内容ですばらしいものでした。

9 前回の議事録承認

第10回の議事録について了承

10 議事について

議事1 本年度の反省と次年度の研修計画について

(佐藤係長)	本年度の反省と次年度の研修計画について説明。
(都甲教育長)	令和5年度の計画も出てますけども、何か皆さん5年度に向けてですね、こういうところに行ってみたいとかこんなことはできな

	いかなってというのは、もしあればここでちょっと出してみただいていいんですけど。私がちょっと言わせていただくと、子ども達の意見を聞くっていうのがやっぱりあってもいいのかな。これは何年かに1回ですね、なかなか毎年は学校も大変だと思うので、それを考えるとこの職に私も就かせていただいて3年経つので、いいスパンで今年度、5年度ぐらいは何かというふうに考えたりもするんですよね。市町村によっては毎年やってるところもありますけど、ちょうど5年度は、中学校は制服も変わりますし、その生の声もちょっと聞いてみたいなとかですね、あわせてそのLGBTとか人権とかですね、そういうのもあるのかなと思ってですね。また、そういうのをちょっと考えていただいて、もし何か具体的にできればなと思います。
(八木委員)	南郷で以前子ども達の意見を聞く会をやったことがあるんですけど、本当にテレビなんか報道が来ると、やっぱり子ども達緊張してあまりしゃべらなくなっていくかな、やっぱりざくばらんな感じではないとなかなか本音というのがでないなと思って。そういうことを考えながらやればすごくよかったんですけど。
(都甲教育長)	そうですね、やっぱりこっちがいろいろ考えてあげないと子ども達はですね、難しいからですね。
(黒木委員)	軽い形でやった方がいいかも。
(都甲教育長)	そういう意味では意見の出しやすいようなこともいろいろ、これは学校の先生とかからも意見をいろいろ聞きながらやるのもいいかなと思ってですね。
(別府委員)	もう教育委員会とは関係ないと思うんですけど、この前初めて知ったのがフリースクール的なものが日南市にあるっていうのを何かちょっと伺って、そういった場所もあるっていうのを全然知らなかったんで、こういった取り組みをされているのかというのを1回ちょっと聞いてみたいなというところがありました。
(都甲教育長)	そうですね、そういうのも今始められた方がいらっしゃるみたいで。いろんなところに我々もアンテナを張っておく必要があるかなと思ってですね、それを子ども達に還元できればなと思っております。

議事 2 学校活性化について

(原村補佐) (黒木委員)	学校活性化について説明。 今酒谷小学校の、現在小規模校の特認校ということをして今年、今年度の市のPTA研究大会での発表の担当が酒谷小学校のPTAで、そこで発表が終わった後に、こういう小規模特認校という制度がありますっていうことをPTA会長さんがいらっしゃる保護者の方に向けてPRされたんですよ。それを聞いてその児童が増えたっていうふうに報告を受けていて、なのでこういった、もう少し保護者に向けての身近にもうちょっとPTAのそういった研究大会等を利用して、直接保護者に伝えることができたならまた増える可能性もあるのかなっていうのをちょっと感じたところがありました。
	あと1点が、中学校の児童推移表のところ、細田中学校がちょっと、大堂津小、細田小、大窪小からの3校集まってる細田中なんですけど、近年大堂津小学校の児童が隣の南郷中学校の方に通うっていう保護者の方がちょっと多くて、来年度の入学生も大堂津から二名というふうな話を聞いているので、これから先もこういった、どうしても決め手が部活動、ちょっと細田だとテニス部しかないとかそういったことで、やはりその隣に行かれる、自転車でも全然通える距離みたいで、大堂津からみんな自転車で通学している方が多くて、これからどんどんこの数字どうりではない推移が予測されるのではないかなっていうふうに感じているところです。
(八木委員)	5年後のことが書いてあるんですけど、そのあと5年後はどうなんですかね。その先っていうか、多分出てましたよね人口の推移が。
(都甲教育長)	ここには出てないけど、令和10年以降のことですね。
(八木委員)	そう。ちょっと長く考えて、もうそこから計画していかなきゃいけない時代が来るのかなと。2040年が人口が3万ぐらいですかね、
	予想が出てたと思うんですけど。
(都甲教育長)	ちょっと事務局何か考えていうか、ありますか。
(原村補佐)	一応令和10年までっていう感じで今回載せております。これ以降
	もですね、確かに少子化の影響というのはやはり出てくると思うんですけど、それ以上にですね、今考えなければいけないのが、学校施設の老朽化です。すでに特に古い吾田小学校はもう60年も経っています。50年以上経ってる学校が複数校ございますので、今後はやはりこの児童数の推移もなんですけども、学校の統廃合、新たに統廃合するのか新設で新たなものを作るのかっていうのをですね、こ

(都甲教育長)	の人口推移と一緒に考えていきたいと考えております。 特認校制度については考え方を、何か言えればちょっと話してもらえますか。
(藤岡担当監)	小規模特認校制度につきましては、本年度プロジェクト会議ということで、各学校の校長先生を集めて話をしているところです。本年度は、いわゆる小規模特認校を皆さんに周知するということで話をしております。実際今行っているところで話をさせていただきますと、本年度は各学校のホームページ上に小規模特認校の説明が入るようになっております。それと、来年度に関しましては、委員のおっしゃるようになら皆さんに広げるとということで、各学校のPTA総会で小規模特認校の紹介をしていただきます。それで興味を持った方につきましては、これも今年度作りましたが、各学校の特色を載せたリーフレット、これをカラー刷りのやつなんですけど配布していただこうと考えております。
(別府委員)	小規模特認校制度、日南市だけの取り組みなんですか。それとも各市町村やってる取り組みなんですか。
(藤岡担当監)	各市でやってるところもございます。ただ、うちみたいに5校とかにはあまりないのかなと思います。
(都甲教育長)	いろいろな条件があって、保護者の責任で送り迎えをなさうということなんですよ。三股辺りは市、町がバスを走らせて、割と通わせやすいんですよ。真ん中の三股西ってのが大きい学校があつて、あと4校が少ないんですけど、そこにこう通って。お金がかかることなので、なかなか難しいんですけど。小さい学校を再び元気を出すためには、この特認校制度っていうのは一つの決め手になると思います。 黒木委員がおっしゃった細田中については、正直黙っちゃったら、何もしなかったらだんだん減ってくことだと思うんですよ。だから部活動も転出しかないっていうのは仕方ないので、普段の活動の中で小学校と中学校が一緒に活動して、人と人の繋がりの中であの先輩がいるから行ってみようかなとかね。そういうみんながみんなバレーとか野球してるわけではないので、なんかそういうふうに残ってくれんかなと考えます。
(黒木委員)	あと、思ったのが高校入試のときに自己推薦制度になったのが、やっぱり大きな学校に入るよりも小さな学校の方がいっぱい書くことがあるんですよ。役割がすごくみんな与えられてるので。大きな学校にいた保護者と話すと何も書くことがないって。そういう小規

(都甲教育長)	模校ならではのみんなでいろんな取り組みをして、みんなが役をできるっていうそういう売り込みをできるといいのかなって。高校受験を見据えた３年間だよっていうのを小学校６年生、６年生がそれを考えられるかわからないので、やっぱり保護者向けにもその学校説明会だったりするときにお話をして、保護者がそういったことを子どもと家庭で話せるような流れがあると少し考えが変わってくるのかなと思ったりしました。 色んな活動ができるってことですよね。個人個人のね、今年は就職試験が皆困っているじゃないですか。新型コロナだったから大学での活動がなくて、あなたは大学で何をしましたかってのは書けない、言えないって、それと逆ですよ。そういう、だから良さもあると思うんで、また細田中とかですね、そういう相談も必要なのかなと思いますね。
---------	--

議事３ ３月議会上程議案等

(令和４年度３月補正予算・令和５年度当初予算)について

(田中部長)	３月議会上程議案等（令和４年度３月補正予算・令和５年度当初予算）について説明（学校教育課）
(長本課長)	〃 （生涯学習課）
(郷谷委員)	給食でパンがストップしてると思うんですけど、あれはもう現状のままずっとってことですか。
(田中部長)	今後給食のパンの供給につきましては、現在県の学校給食会の方から４月に幾らか供給の実施に向けて今調整をさせていただいて、先日に行いました日南市学校給食会の理事会において、来年度の方針もお伝えをしたところです。３月６日に今度は給食会の総会がありますので、そこで来年度のことについてお話をしたいと思ってまして、一応県の学校給食会が提供できるものにつきましては１か月に２回程度のパン給食っていうか、パンの供給ができるってことなんですけど、２回位だけではちょっと調理場の先生達のやりくりもちょっとありますので、県の学校給食会ではなくって、市の学校給食会に物品を納入されてる業者さんの中に冷凍のパンを持ってらっしゃる方がいらっしゃいまして、ちょっと単価は上がるんですけど、給食費の範囲で調整をしながら調理場単位でもうちょっと増やせるような方法でとりあえずはやっていく。県の給食会は月２回のパンの供給っていうような形になる予定です。

(都甲教育長)	現在もそう、単発だけど冷凍パンが時々出るんですかね。
(田中部長)	はい。やっぱり全然パンがないというのはかわいそうだという方好きな方達もいるということで、その給食費の範囲の中で冷凍のパンを使われているようなんですけど、北郷の調理場について扱っていないような話も聞いています。
(都甲教育長)	ちょっと給食の数作るところで差が出ちゃってるところはあるんですよどうしても。
(都甲教育長)	ご覧になったように、いっぱいお金かかってですね、改めて見て、やっぱりこう、なかなか派手なこととはできないなっていうのがあれなんですよ、感想は。やっぱりこう地道に下支えをしていくようなことかなと思ってですね。こういう形でいろいろやってきて、そして成果というのをもう見なきゃいけないし、やっぱりちゃんとやれてるかってですね。ですからあんまり拘ることも難しくてですね。いつまで続けるのかともあってですね、こういうのはしっかり見極めながらいきたいし、また皆さんにもですね、ご意見をお聞きしながらやっていきたいなと思っております。

1 1 その他

(1) 3月行事予定について

(2) 第14回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和5年3月20日（月） 午後3時から
- ② 場所 教育委員会庁舎1階会議室

(3) 教育委員会会議（臨時）

- ① 日時 令和5年3月13日（月）午後4時00分から
- ② 場所 教育委員会庁舎1階会議室

1 2 閉会